

<目次>	page
1. 施設概要.....	2
2. 案内図.....	3
3. 周辺写真(1)(2).....	4－5
4. 景観計画.....	6
5. 配置図.....	7
6. 立面図(1)(2).....	8－9
7. 外観イメージ(1)(2).....	10－11

■計画の経緯

- ・青森市の小学校給食は、西部学校給食共同調理場、中央部学校給食共同調理場、浪岡学校給食センター、単独給食実施校13校で調理しているが、西部及び中央部学校給食共同調理場は、建設から30年以上経過しており、また、単独給食実施校においても、平成26年度以降、逐次施設の処分制限期間(建設後35年)を満了し、給食調理場という性格上、施設は常に蒸気等の湿気にさらされ、老朽化の進展が顕著となっている。
- ・このため、市では、新たな給食センターの整備を行うこととしているが、施設整備等に当たっては、大量調理を行うための近代的な施設整備の効率的な導入が図られた集約された施設であること、衛生管理の徹底や人件費等の経費節減、物資の大量購入により、安価な食材料の確保が可能であること、優れた設備等を整備することで、栄養バランスを考慮した温かい食事の提供や、家庭、学校、地域などに学校給食や食に関する情報の発信を行うなど、食育の推進に寄与することができること等を考慮し、共同調理場方式での給食センターを、青森市西部工業団地内の青森市中学校給食センター隣接地において整備することとしている。
- ・新たな給食センターの整備・運営に当たっては、PFI手法を取り入れることにより、民間企業が有する最新の技術や知識、運営におけるリスク管理能力等を活用し、安全で安心な給食の提供を効率的・効果的に実施することを目的とする。
- ・PFI方式の入札によりグリーンハウスグループが事業を行うことが決定し、設計は梓設計・前田建設工業のJVにて行うこととなっている。建築完了後の2014年4月から15年間、小学校給食センターと隣接する中学校給食センターの運営・維持管理をグリーンハウスグループで行う計画となっている。

■計画概要

- ①計画地
- ・建設予定地:青森市大字三内字丸山393番地261
 - ・用途地域:工業専用地域
 - ・建ぺい率/容積率:60% / 200%
 - ・所有関係:市有地

- ②本体施設(給食センター)
- ・敷地面積:約8030㎡(今後測量にて決定)
 - ・主要用途:工場(給食センター)
 - ・階数:地上3階(最高高さ14.7m)
 - ・構造種別:鉄骨造・耐火建築物
 - ・基礎形式:杭基礎

- ③駐車・駐輪台数
- ・市職員、来客用駐車場:20台(1台は身障者用)
 - ・配送車庫:18台
 - ・敷地外駐車場:145台
 - ・駐輪・バイク置場:5台

	建築面積	延床面積			備考
		屋上階	589.14㎡	7013.49㎡	
本体施設 (給食センター)	4665.70㎡	2階	1860.15㎡	9㎡	
		1階	4564.20㎡		
その他施設	60.00㎡			60.00㎡	ゴミ置場 ガスバルク置場・灯油タンク置場
合計	4725.70㎡			7073.49㎡	建ぺい率:58.86% 容積率:80.25%

- SPC(特別目的会社)
- 「株式会社青森スクールランチサービス」
- ・構成員を下記に記す。

担当分野	企業名
代表企業	グリーンハウス
運営企業	グリーンハウス
設計/工事監理企業	梓設計
設計/建設企業	前田建設工業
厨房設備企業	日本調理機
維持管理企業	三菱電機ビルテクノサービス

※敷地内で従業員用の駐車場が確保できなかったため、周辺の土地を借り駐車場として使用する計画です。

※面積は今後変更になる可能性があります

■主な設計条件

- ・提供食数1日当たり約12000食
- ・配送対象小学校:32校
- ・中学校給食センターの敷地を分割し、その中で計画を行う。
- ・工事中も中学校給食センターは運営を行っているので、配慮する。
- ・市職員、来客用駐車場合わせて20台確保(内1台が身障者用駐車場)
- ・駐輪・バイク置場を5台確保

■施設の概要

- ・青森市内の小学校に提供する給食の調理と配送を行う給食センターです。提供食数は最大12000食となっています。
- ・施設は3階建で1階部分が給食の調理エリアとなっています。建物南西面に食材の搬入口を設けており、食線的な動線で調理を行い建物北東面の配送口から各校へ給食を配送します。
- ・建物2階部分は、更衣室や食堂等といった調理員の使用するエリアと一般外来者の見学エリアに分かれます。調理エリアの一部に吹抜けを設けることで、2階の見学窓から1階の調理の様子が見学できるようにしています。主な調理工程を見学できるように計画しています。
- ・3階部分は機械室となっています。屋上には太陽光発電パネルを設置し、環境に配慮した計画としております。

■本事業の認識

- ・市内で初めてのPFI方式による給食センターであること、既存中学校給食センターとの一体運営であることを認識し、小中一体となった効率的な運営、小中9年間を通じた、豊富な食材を活かしたおいしい給食の提供、食育支援等、県の先導モデルとなる青森の食文化の発信拠点として、青森ならではの新たな給食センターを提案します。

■取組姿勢

- ・当グループを構成する設計・建設・厨房設備・維持管理・運営企業の豊富な実績に基づいたノウハウや技術を集結し、質の高いサービスを提供します。
- ・当グループは、これまでも協働でPFI給食センター事業に取り組んでおり、良好なチームワークで本事業を推進します。
- ・事業期間にわたり、貴市(栄養教諭含む)と給食に対する思いを共有し、長期にわたり強固なパートナーシップを築き上げます。

■給食センターのあり方

青森市の基本方針

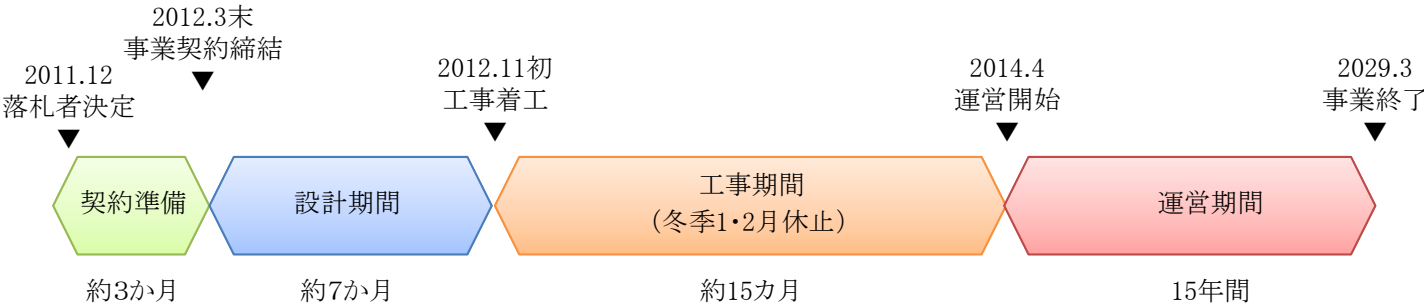
- 1.衛生管理の徹底
- 2.調理機能の充実
- 3.望ましい食環境の整備
- 4.アレルギー対応食の提供
- 5.環境への配慮
- 6.コスト縮減の追及
- 7.食育に関する教育的施設の整備

1. 安全でおいしい給食を提供します。
衛生管理の徹底と調理機能の充実をもとに、心をこめて調理することで、「より豊かで・おいしく・温かい給食」を確実に提供します。
アレルギーに対応した最新の施設計画と豊富な実績に基づく運営ノウハウにより、食物アレルギーを持つ児童に対して、「安全・安心な給食」を提供します。

2. 食を通じて健やかな子供たちを育みます。
子供の頃から食べ物に興味を持たせるため、食を楽しく学べる生きた教材として「体験の場」や「映像を通して食を学べる場」を提供します。
食に対する正しい理解を伝えるため、正しい箸の持ち方や食事のとり方、食事栄養バランスなどを学べる機会を提供します。

3. 事業期間を通じ、末永く地域に貢献します。
食を通じた地域との交流、青森の食に関する情報発信、地域人材の育成など、事業期間を通じて地域に貢献し、「地域に親しまれる「食の拠点」」をつくります。
エネルギーの有効利用や効率的な運営により、ライフサイクルコストの縮減を行い、「継続的につかいやすい施設づくり」とします。

■事業スケジュール

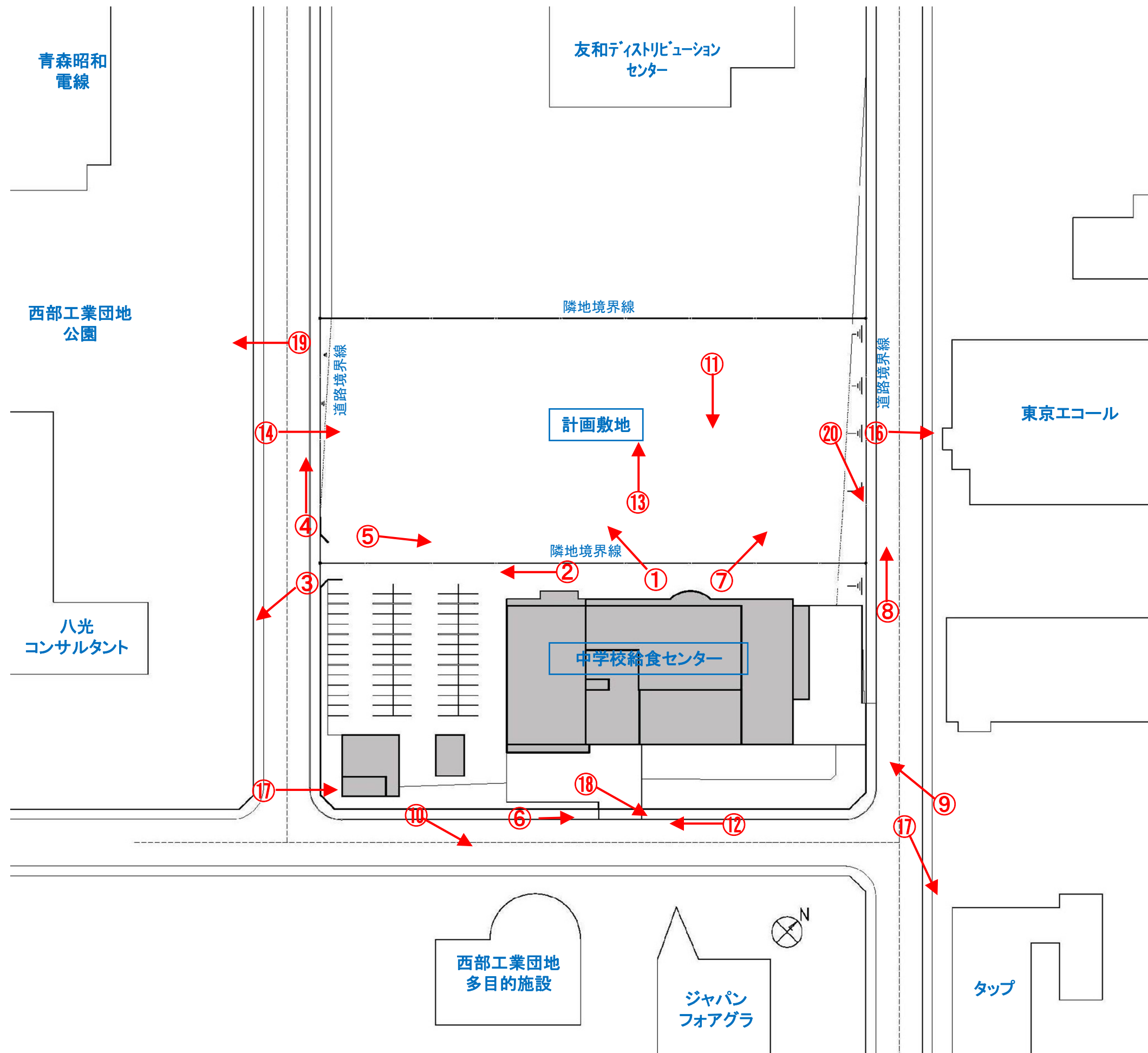




Z11LD第454号



Z11LD第454号



中学校給食センターより計画地西側を見る



中学校給食センター構内道路



計画地から南方向を見る



計画地南西側の前面道路



中学校給食センター(南西面)



中学校給食センター(北東面)



計画地から北西面を見る



中学校給食センター(南西面)



中学校給食センター南東側道路(北東向き)



多目的施設(計画地南東側)



南西側前面道路から計画地を見る



中学校給食センターより南東側を見る



中学校給食センターより計画地東側を見る



中学校給食センター(北西面)



中学校給食センターより東側を見る



西部工業団地公園(計画地南西側)



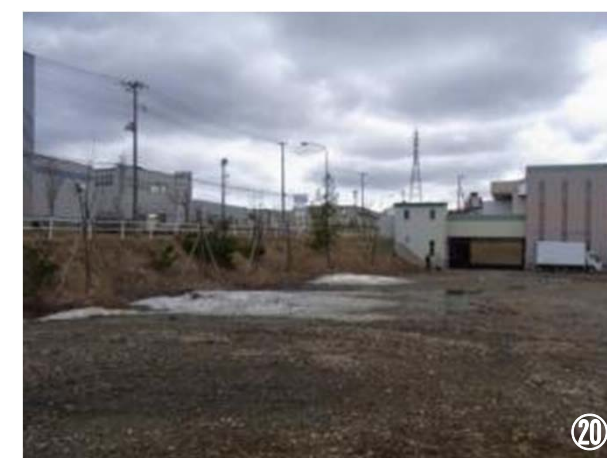
計画地北東側の前面道路



中学校給食センター南東側道路(南西向き)



計画地より北東面を見る



計画地より東側を見る

■建設する施設・配置計画

・本計画地は「青森市景観計画」の「青森地区景観方針図」における「自然的景観」に該当する。また、「自然が豊富な環境で街並みや人工物どうしの調和ゾーン」に位置する西部工業団地内にある。市の景観の方針に従い、既存の地形を残し、山並に配慮する。

・具体的には、清潔感がありシンプルな色彩とすることで周辺と調和した計画とする。建物は3階建てに抑え、敷地周辺に緑地を配置することで、自然景観に配慮する。

■施設計画：外観デザインコンセプト

- ・隣地に既設の白色を基調としてデザインされた中学校給食センターがあることから、全体の色調を合わせ、さわやかで清潔感のある白色系の色調で統一し、給食センターにふさわしい衛生的な色彩計画とする。
- ・外壁下部に青森の風景を表現した街並み模様を施し、構内道路・歩道を彩る。
- ・施設正面玄関には柔らかな金属底と、給食センターらしさがわかるサイン(食材写真フィルム)を施すことで、一目でエントランスがわかる外観デザインとする。

■景観への配慮

- ・本体施設を敷地中央に配置することで、周囲への圧迫感を軽減した計画としている。さらに3階部分をセットバックさせている。
- ・敷地外周部には緑地帯を配置している。現状の中学校給食センターに植栽されている樹種に合わせた計画とすることで、街区全体の一体感を演出する計画とする。
- ・本体施設自体は外壁は押出成型セメント版を使用し白色系の清潔感があり、周囲と調和する色彩を基調として計画する。
- ・エントランスの脇の壁には、青森の特産食材を表現したフィルムを張り給食センターを示すサインとして演出する。
- ・また、中央構内道路に面する壁面には青森の街並みを表現した塗装を施し、来館者を楽しませる計画とする。

■建設する施設

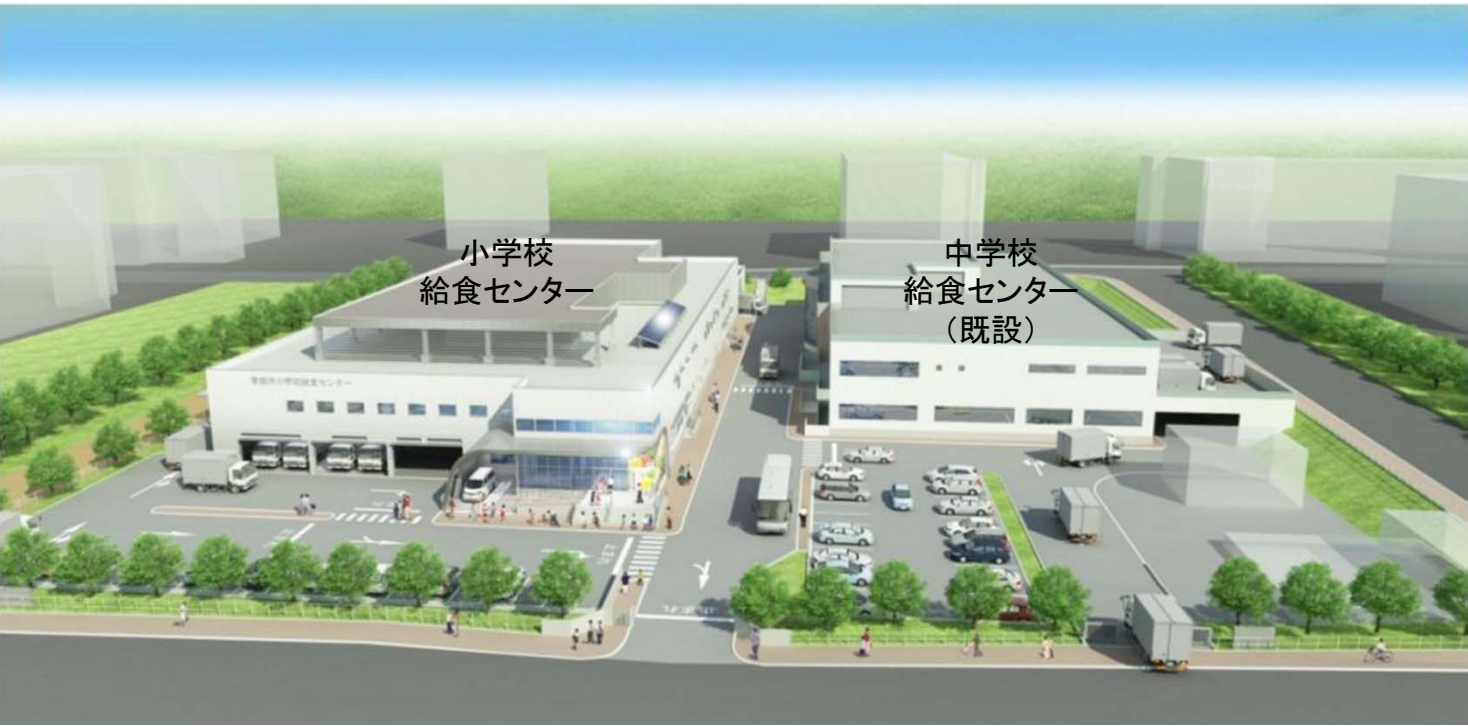
建設する施設は下記になる。

- ・小学校給食センター
- ・ガスバルク置場
- ・ゴミ置場
- ・来客用駐車場(屋外駐車場)

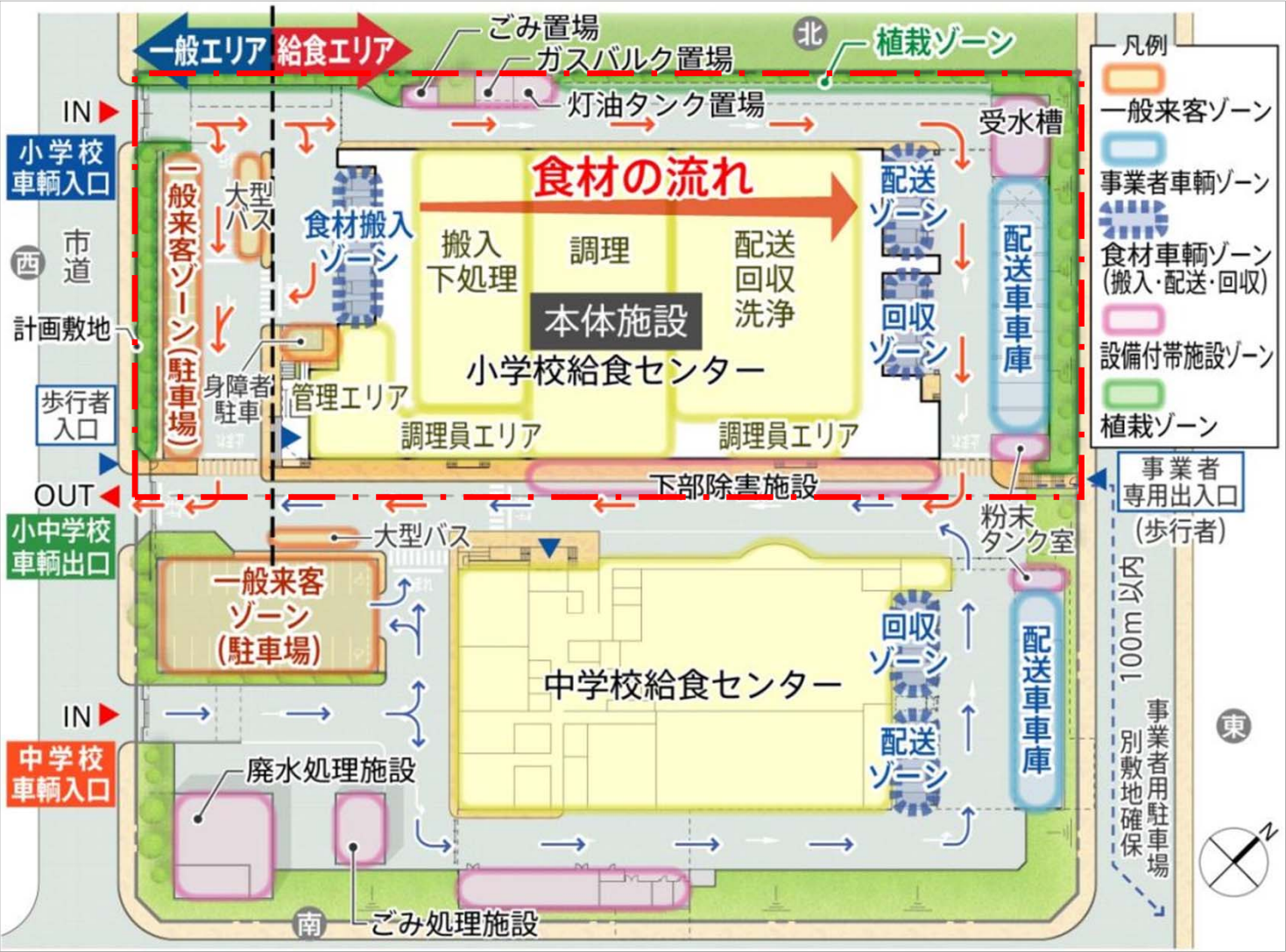


■配置計画

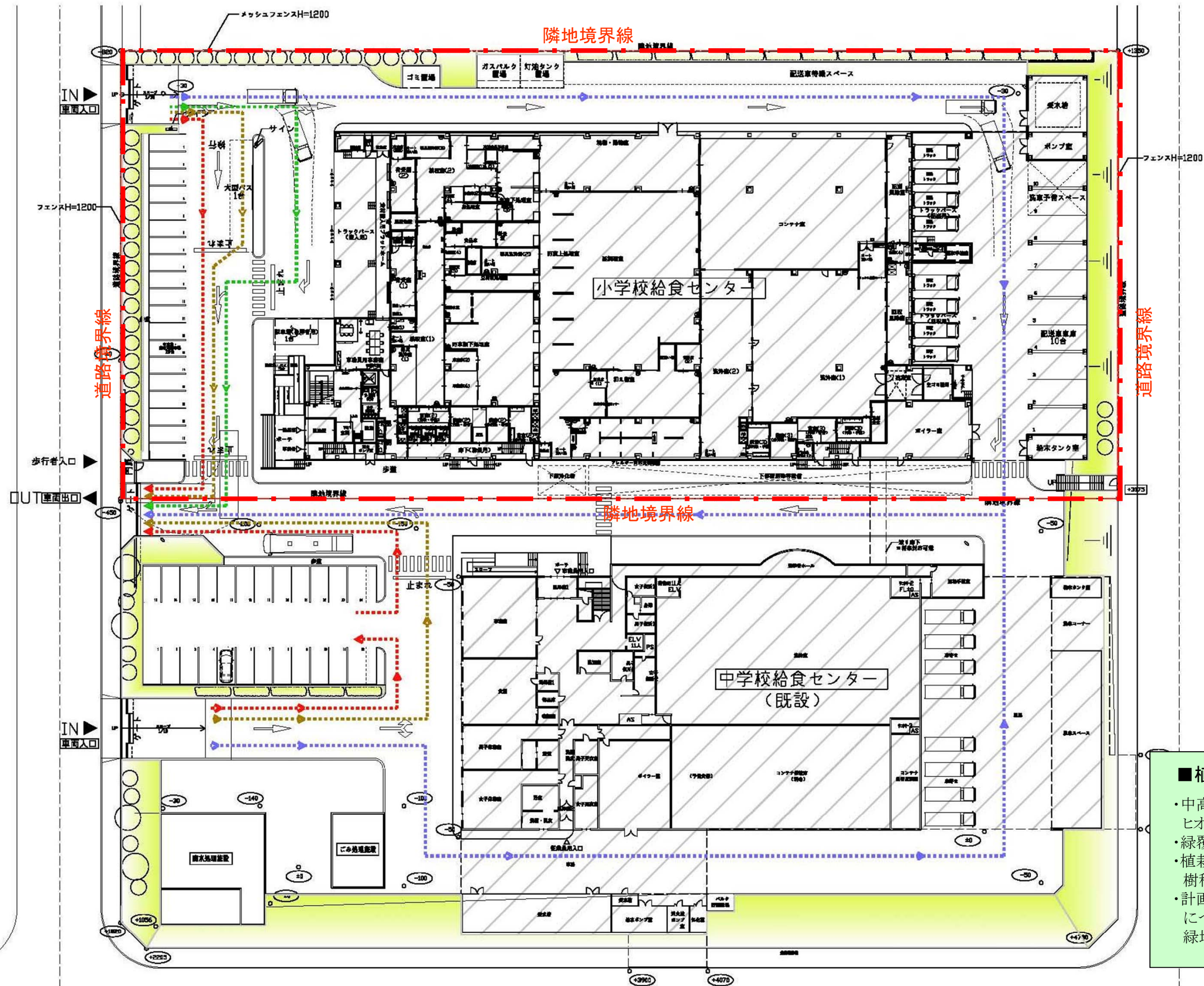
- ・計画敷地は東西面が道路に面している。敷地東面の道路は敷地と高低差があり、道路の方が高く法面となっている。従って敷地への車の進入動線は西面から確保する計画としている。東面には階段を設置し、歩行者の従業員用入口のみ設置している。
- ・敷地中央に小学校給食センターを配置し、周囲に構内道路を回している。敷地内は全ての車両が一方通行となるように計画をしている。ガスバルク置場・ゴミ置場等の付帯施設は小学校給食センターと構内道路を挟んだ位置に計画し、メンテナンスに配慮している。
- ・中学校給食センター側にも新たに車両入口を設けることで、小学校・中学校給食センターそれぞれの動線が交差しないような一方通行の動線計画としている。
- ・駐車場は敷地西面の進入口付近に計画し、エントランスとの距離を近づけている。



■全体鳥瞰パース



■配置イメージ図(小学校・中学校給食センター全体図)



- 車両動線**
- 一般来客車
 - 見学用バス
 - 搬入車両
 - 配送回収車両

小学校給食センター

【駐車台数】

- ・配送トラック用：18台
- ・市職員・来客用：20台
(身障者用1台含む)
- ・大型バス：1台

中学校給食センター

【駐車台数】

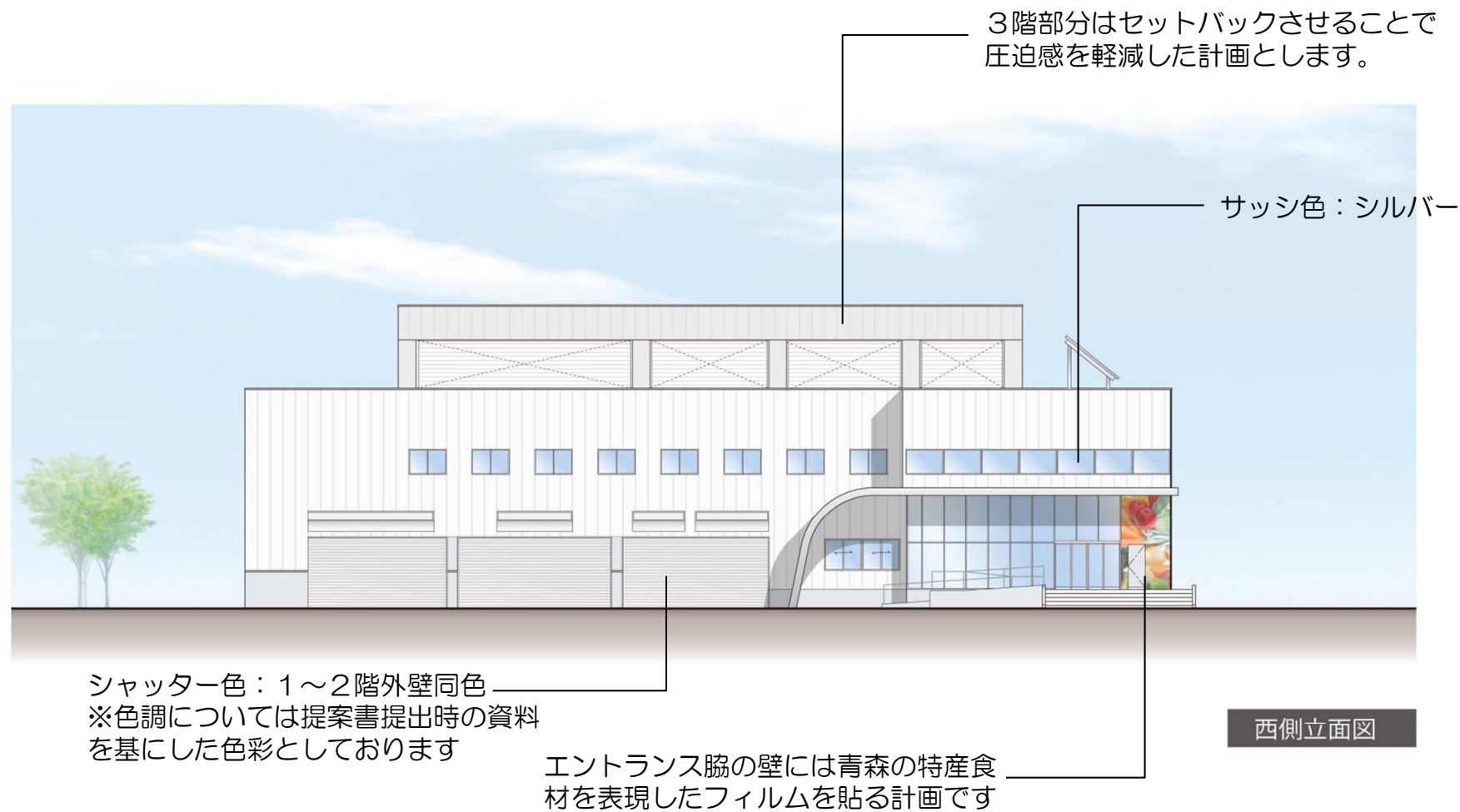
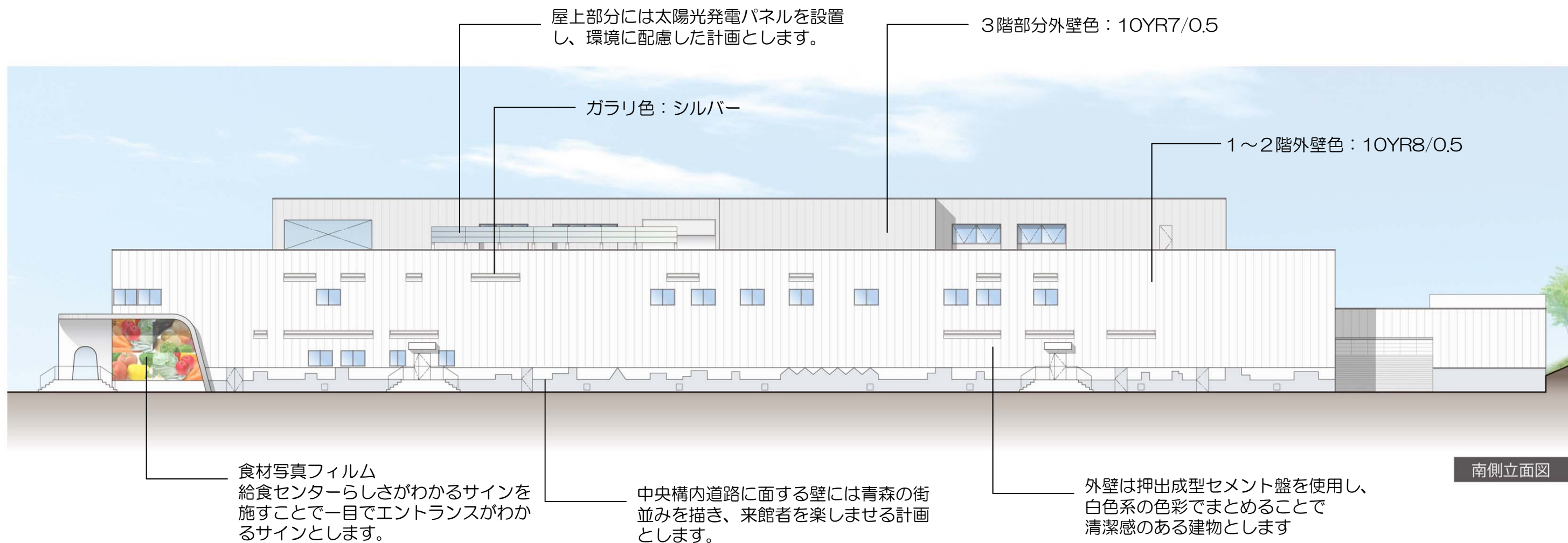
- ・市職員・来客用：24台
(身障者用2台含む)

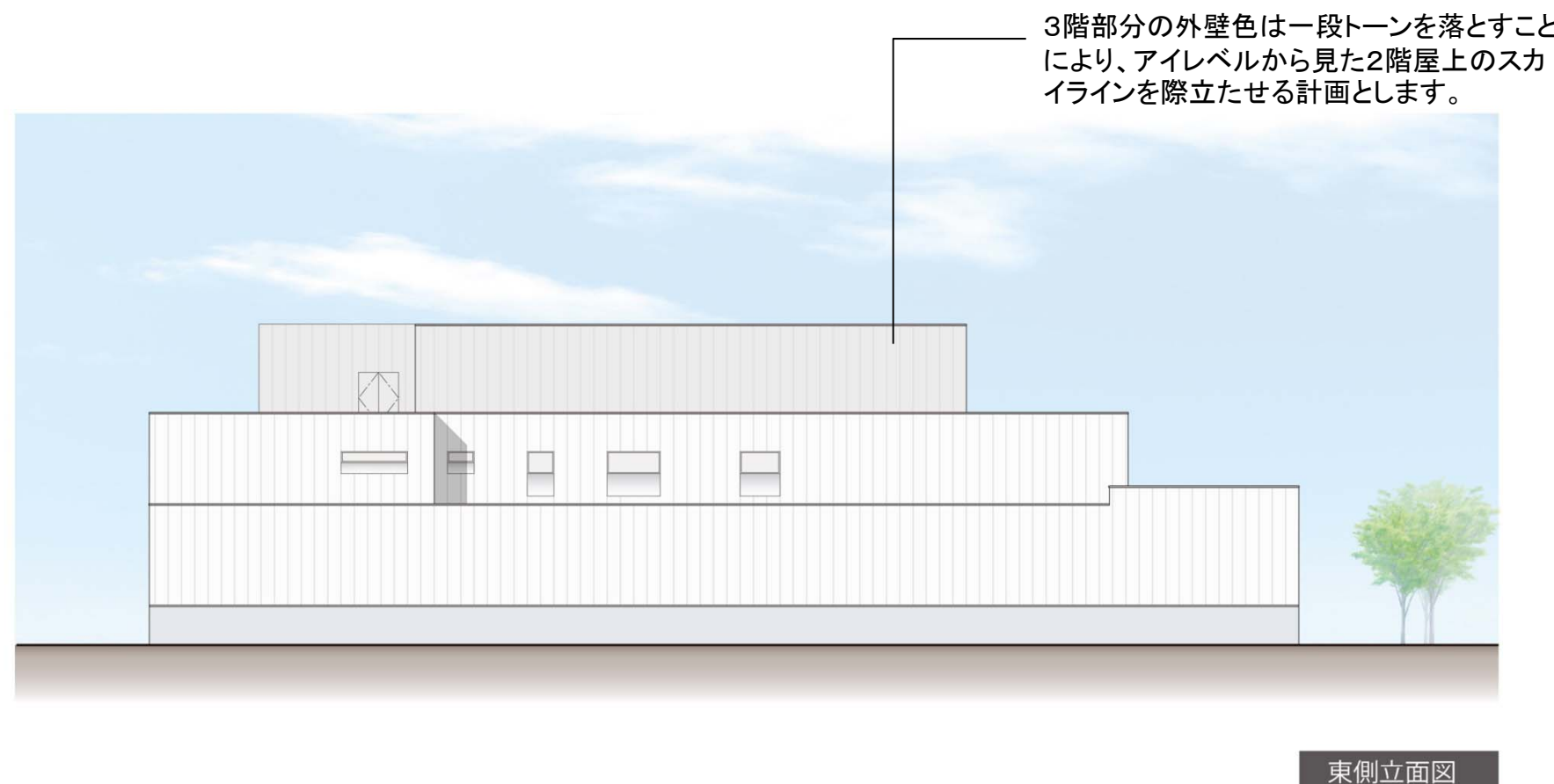
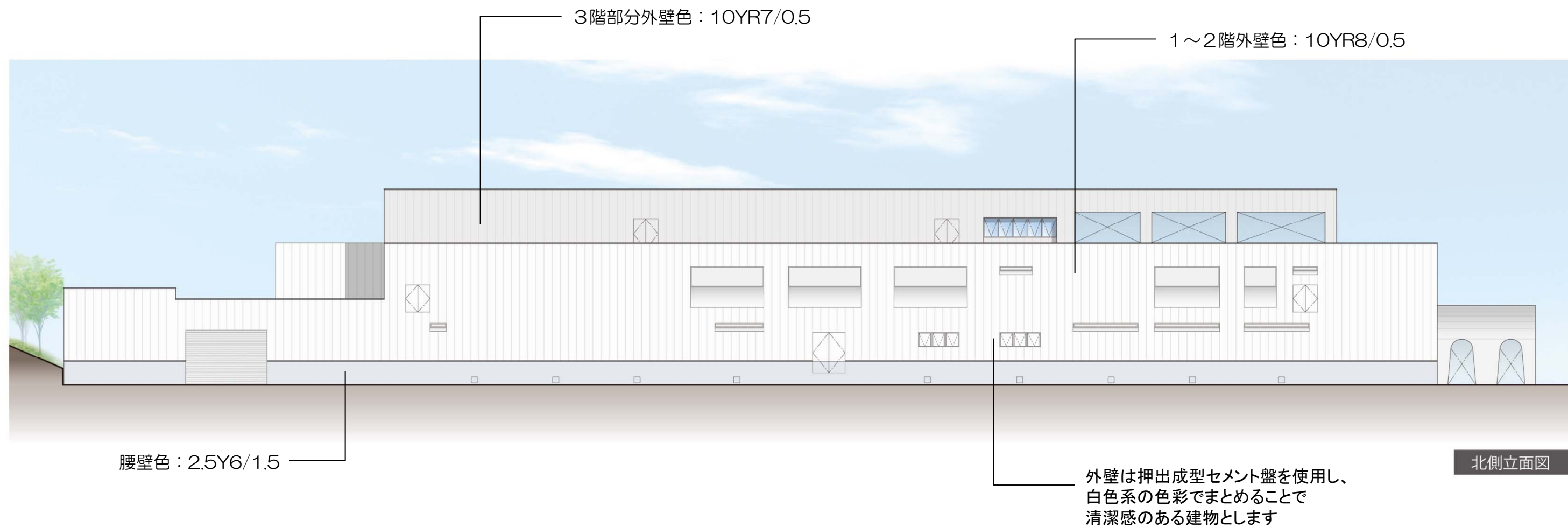
【凡例】

- ±0 : 敷地レベル
- ±0 : 想定敷地レベル

■ 植栽計画

- ・中高木(H=3.0m): 主な樹種 ヒオイヒバ・イチイ・ヤマボウシ等。
- ・緑覆: 植生マット(フェスク類)
- ・植栽には寒冷地に強く、虫のつきにくい樹種を選定して計画します。
- ・計画には工事に支障のない既存樹木については、極力残置させる計画として緑地の保全を図ります。





色調については清潔感のある色彩・中学校給食センター及び周辺の色調に合わせるという主旨から明るい色彩を使用したいと考えております。

計画については、審議会の意見等を参考にした上で調整を行い、決定する方針です。

立面図・及びパースは提案書作成時のものを使用しています



